

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成19年7月

(平成19年6月末調査)

平成19年7月13日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【5月】	諏訪公共職業安定所管内	1.13倍	△0.07ポイント	
	岡谷公共職業安定所管内	1.43倍	+0.14ポイント	
手形交換高【6月】(注) (諏訪手形交換所扱)	枚 数	9,364枚	△3,122枚	
	金 額	10,699百万円	△4,970百万円	
	うち不渡り発生状況	枚 数	0枚	△1枚
		金 額	0千円	△140千円
車庫証明取扱件数【6月】(諏訪・岡谷自動車協会管内)		1,144件	△7.6%	
新設住宅着工件数【19年4月～5月】(諏訪所管内)		348戸	△51戸	

(注) 6月末日が休日のため、手形交換高の対前年比は大きく減少しています。

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注状況は引続き高水準の企業がみられる一方、幾分減少傾向の企業も多くなっている。また、電装部品、ディーゼル車部品などには受注が増加した企業がみられる。工作機械は高度機械などを中心に高水準の生産を続けているが、汎用機械の動きは低調となっている。専用機の受注に動きが出ており、一部に明るい兆しが窺える。医療機器部品、デジタル一眼レフカメラ鏡枠などの下請企業の受注は高水準となっている。電気機械、金属加工などの外注企業の受注は、一時より減少した状況での横這いの企業が多く、部品加工業者からは受注不足の声が聞かれるなど一服状況となっている。液晶や半導体関連部品は、当面の受注が減少しているところが多い。

地域製造業全体の生産・受注状況は、6月も引続き弱含みの状況が続き小規模企業の受注量は減少している。また、素材価格が高止まりの状況となっており、下請企業の収益を圧迫している。

このような状況から、地域製造業の業況は弱含みの横這い状況となっている。

●商業

諏訪地方は6月14日に「梅雨入り」したが、梅雨前線の活動は弱く月間を通しての降水量は平年に比べ少なく、気温の高い月となった。

お中元コーナーは、6月中旬に設置した店舗が多く出足は好調である。父の日セールでは、プレゼント品が分散しており目立った動きはきかれない。

衣料品は、夏物衣料品の動きは低調であった。一部の店舗では、消費者が7月初旬から始まるバーゲンを目当てに購入を延ばしている傾向があるとの声がきかれた。

ホームセンターは、除草剤などの園芸用品や、梅漬け用品などの季節商品の売れ行きが好調である。

●観光業

例年6月は、梅雨やゴールデンウィークの反動から入り込み客は低調となるが、今年は比較的雨が少なかったことや、NHK大河ドラマ「風林火山」の効果もあり入り込み客は前年を上回った。8月15日に開催される第59回諏訪湖祭湖上花火大会のマス席の抽選が行われ、競争倍率は10倍～40倍と高い人気となった。また、各ホテル・旅館の栈敷席の予約状況も順調である。

上諏訪温泉の宿泊客数は、個人客を主体に前年同月を上回ったところが多い。団体客も幾分増加傾向であるが、個人客がホームページを通じて宿泊の数日前に予約を入れるケースが増えている。

蓼科・白樺湖・車山方面は、総体では前年同月を幾分上回った模様である。

下諏訪温泉は、宿泊客、売上高ともに前年同月比で増加したところが多い。

諏訪大社（上社・下社）の6月の参拝者数は58千人で、前年同月比5千人の増加となっている。団体のバスツアーが主体であるが、少人数の個人客も増加している。

●建設業

市町村の6月の発注工事は、108件1,577百万円で前年同月比410百万円の増加となっている。県の6月の地元業者への発注工事は17件1,271百万円で、平成19年4月～6月の累計契約額1,657百万円と前年同期累計比では1,469百万円の増加となっている。

民間工事は、5月の新設住宅着工件数は174戸で約100戸のマンション着工があった前年同月比では91戸減少している。建築工事は、当面の受注量は確保しているが、秋にかけての受注見込みが薄いとす声がきかれる。

●雇用

5月の有効求人倍率は、諏訪公共職業安定所1.13倍、岡谷公共職業安定所1.43倍で、諏訪地域の有効求人倍率は1.23倍と全国（1.06倍）及び長野県（1.18倍）を上回っている。

諏訪職安と岡谷職安を合わせた5月の新規求人（全数）は1,307人で前月比365人減少、前年同月比68人減少した。

地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降44ヶ月連続して1倍を上回っている。

業界別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注状況は企業により増加、減少区々となっており、昨年のピーク時よりは減少傾向のところが多い。
コンデンサー	自動車用コンデンサーの受注は安定している。
プリンター	大型プリンターの生産は堅調に推移している。部品加工やアッセンブリーなどの下請企業の受注は幾分減少している。
コンダクター・リレー	親企業により受注は区々となっているが、総体では幾分増加傾向となっている。

2. 輸送用機械

自動車	受注が安定し堅調な生産を続ける企業がみられる一方で、受注が幾分減少している企業も多く、部品により受注状況は区々となっている。自動車業界への参入を目指し受注活動を展開している企業が多くみられ、専用機や電装部品などの受注が徐々に増えている企業がみられる。
ピストンリング・シリンダーライナー	メーカーは順調な生産を続け、下請企業の受注は総体では高水準で推移しているが、部品により減少したところも見られる。
船外機	下請企業の受注は旺盛であり高水準の横這状況が続いている。

3. 一般機械

工作機械	自動車部品加工機、OA機器部品加工機などの高度機械は順調な生産を続けているが、汎用機械の動きは低調で先行きの受注に慎重な見方をしているところが見られる。
専用機・省力機器	企業により受注状況は増加、減少区々となっているが、新規発注の動きが出ており一部に明るい兆しも窺える。
搬送用機械	食品関連企業、物流関連企業からの受注は安定しているが、情報機器メーカーからの新規受注は幾分低調となっている。
金型	情報機器や音響機器は機種により増加、減少区々となっており、総じては幾分弱含みとなっている。
アルミダイキャスト	自動車関連部品の受注は、増加した企業が一部にみられるが減少した企業も多く、総体では幾分弱含みで先行き慎重な見方をしている。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの5月の生産台数は860万台で、前月比1.8%増、前年同月比38.4%増となっている。5月の出荷台数は国内出荷75
---------	---

万台、海外出荷 752 万台で、出荷台数全体では前月比 4.3%減、前年同月比 30.0%増となっている。(カメラ映像機器工業会)

デジタル一眼レフカメラ鏡枠などの下請企業の受注は高水準となっている。

プロジェクター 海外生産が主体となっており、地域企業の受注は減少したまま横這いの状況となっている。

レンズ ガラスレンズの生産拠点は海外が主体となっており、国内の生産規模は減少している。レンズの海外生産規模は拡大しており、海外の設備投資が旺盛となっている。

5. 織 維

ニット 初秋ニットの生産が最盛期を迎え繁忙のところもあるが、気候の変化による消費行動や売れ筋が掴みきれず苦慮しているところもあり、サンプル出荷により市場の反応を見るメーカーもみられる。

6. 食 品

寒天 気温が上がったことから個人消費に動きがみられた。業者向けも安定推移している。

味噌 需要の減少期を迎えているが、出荷は平年並みである。

7. 製 材

諏訪地方の5月の木造住宅着工件数は97戸で前年同月比39戸減少した。建材は高値圏であるが順調に動いており、角材等にも動きがみられる。

8. 建 設

公共工事 6月に地元業者が受注した県関係公共工事は、発注機関別では諏訪建設事務所9件、林道治山工事関係6件、その他土木工事2件の合計17件、契約金額1,271百万円となっており、平成19年4月～6月の累計契約額は1,657百万円と前年同期累計比では1,469百万円の増加となっている。

市町村の6月の発注工事は、建築工事16件679百万円、土木工事・下水道工事66件675百万円、その他工事26件222百万円の合計108件1,577百万円で前年同月比では410百万円の増加となっている。

民間工事 諏訪地方の5月の新設住宅着工件数は174戸で、約100戸のマンション着工があった前年同月比では91戸減少している。当面の受注は確保しているとするところが多いが、秋にかけての受注見込みが薄いとする声がかかれる。

9. 商業

諏訪地方は6月14日に「梅雨入り」したが、梅雨前線の活動は弱く月間を通しての降水量は平年に比べ少なく、気温の高い月となった。

お中元コーナーは、6月中旬に設置した店舗が多く出足は好調である。父の日セールでは、プレゼント品が分散しており目立った動きはきかれない。

衣料 夏物衣料品の動きは低調であった。一部の店舗では、消費者が7月初旬から始まるバーゲンを目当てに購入を延ばしている傾向があるとの声がきかれた。

食料品 生鮮3品の値動きは安定しており、売れ行きは堅調である。店舗の改装効果や品揃えの見直しにより、売上を伸ばしている店舗もある。

家電製品 薄型TVを柱として、デジタル家電の動きは堅調である。

自動車 諏訪地方の6月の車庫証明件数（軽自動車除く）は1,144台で、前年同月比△94台（△7.6%）となった。また、軽自動車の販売台数は375台で前月比△23台（△5.7%）となった。

全国の2007年度上期（1月～6月）の新車販売ベストテンはすべて軽自動車か小型車であり、当地域でも同様の傾向がみられる。

ホームセンター 除草剤などの園芸用品や、梅漬け用品などの季節商品の売れ行きが好調である。

デパート 生鮮食品や婦人服の売れ行きは好調で、「お中元コーナー」では産直品が人気となっている。

10. 観光

例年6月は、梅雨やゴールデンウィークの反動から入り込み客は低調となるが、今年は比較的雨が少なかったことや、NHK大河ドラマ「風林火山」の効果もあり入り込み客は前年を上回った。8月15日に開催される第59回諏訪湖祭湖上花火大会のマス席の抽選が行われ、競争倍率は10倍～40倍と高い人気となった。また、各ホテル・旅館の栈敷席の予約状況も順調である。

上諏訪温泉 宿泊客数は、個人客を主体に前年同月を上回ったところが多い。団体客も幾分増加傾向であるが、個人客がホームページを通じて宿泊の数日前に予約を入れるケースが増えている。

蓼科・白樺湖・車山 ホテル・旅館により増加、減少区々であるが、総体では前年同月を幾分上回った模様である。

下諏訪温泉 宿泊客、売上高ともに前年同月比で増加したところが多い。

諏訪大社 上社、下社合わせた6月の参拝客数は58千人で、前年同月比5千人の増加となっている。団体のバスツアーが主体であるが、少人数の個人客も増加している。

